

# 2014年9月2日経営会議の概要

日時 : 2014年9月2日(火) 午前11時5分~正午
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、高橋副市長、有金副市長、政策経営部長、総務部長、財務部長、経営改革室長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長
説明 : 議題1 環境資源部長、環境・自然共生課長

議題1 : 「(仮称) 町田市生物多様性保全計画(案)」の策定について (環境資源部)

## 【付議の目的】

○「(仮称)町田市生物多様性保全計画」の策定に向けたパブリックコメントの実施にあたり、計画の素案について承認を受ける。

## 【提案の概要】

町田市では、樹林地や農耕地をはじめとした自然が急激に失われ、人々の暮らしと一体となった里山が減少している。また、地球温暖化の影響によって生きものの生態にも変化がみられ、生きものやその生育、生育環境を守るためのさらなる取組が求められている。

国は1993年に生物多様性条約の締約国となり、2008年に「生物多様性基本法」が施行され、都道府県及び市町村での生物多様性地域戦略の策定が努力義務となった。そして、2010年の生物多様性条約第10回締約国会議において「愛知目標」が掲げられ、2012年に「生物多様性国家戦略2012-2020」が策定された。

町田市では、第二次町田市環境マスタープラン推進計画において「生物多様性保全のための仕組みづくり」を重点事業の一つとして掲げており、町田市の生物多様性の保全と持続可能な利用を将来にわたって推進していくため、「(仮称) 町田市生物多様性保全計画」を策定する。

## 【主な意見】

- 本計画において掲げる将来像について、多くの市民が関心を持てるような将来像となるよう再度検討すること。
- 子ども向けプログラムの実施について、体験学習の機会が増えるような具体的な取組を記載すること。
- 生物多様性の危機の内容について、表現方法を再度検討すること。

## 【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。